

東北地域懇談会



場所 八幡平市（旧松尾村）八幡平ハイッ

日時 八月二十八日（日）十一～十五時

Aさん（男性）

六十五歳です。七年前に風邪が治らなくて病院に行った時にC型肝炎が分かりました。風邪と
思っ
て抗生物質を使っ
たので、その後大変な苦
労を
しました。

その時はGOT・GPTが300以上あつて、
この世の終わりかと思
いました。それから「強
ミノ」などで治療した結果、現在はGOT60
とGPT100ぐらいです。

現在の体調はゴルフを楽しんだりして、日常生
活には支障はありません。しかし、身体にはい
ろいろな症状があり、一時は医大の各科を回っ
て歩いた時もあります。今は男の更年期とい
うぐらいに割りきって考えています。やっと慢
性肝炎の生活感覚が身についたかなと思っ
てい
ます。

Bさん（男性）

村の検診を受けたら、C型肝炎の可能性が高い
と言われてすぐ病院に行きました。

その病院で「これは怖い病気だ、医大から先生
が来るから奥さんを連れて来て下さい」と言わ

れてビックリしました。（笑）
しかし、その時肝機能は正常でしたが、その説
明を聞いてから、だるくて朝起きれなくなりま
した。その後検査したらGOTは正常値だつた
がGPTが100ぐらいでした



親戚の人にその事を話したら、肝臓に効く薬健
康補助食品）があるからと勧められました。そ
してその薬を買って飲みました。高い薬で一ヶ
月に二十万円ぐらいかかりました。全部で二百
八十万円ぐらい飲んだんですよ。

そしたら本当に良くなつて、それからずっと良
い状態が続いていました。

しかし、今年の六月に病院に行つて検査したら
GOT200、GPT300になっていました。
今も一日置きに「強ミノ40ml」と「ウルソ」

を飲んでいますが、GOT、GPTとも200
ぐらいしか下がっていません。

小田中

大分、高い薬を飲んだようですが、私も買って
飲んだことがあります。全然効きませんでした。
むしろ、健康補助食品を飲んで肝機能が上が
つてしまつた人もいますので気をつけた方がいい
です。**Cさん（男性）**

四十八歳です。肝臓が悪いと言われて二十八
年になります。二十歳の時に輸血を受けてそれ
以来です。仕事していても疲れやすいので病院で
検査を受けたら「非A非B型肝炎」といわれま
した。

その二年後にC型肝炎と分かつて、まもなくイ
ンターフェロン治療を受けましたが治りません
でした。その時に病院で検査を受けたが看護士
さんから「C型肝炎のキャリアです」と言わ
れた時はショックを受けました。その頃エイズ
でもキャリアという言葉を使っていたので特に
感じました。

四年前にもインターフェロンとリバビリンの併
用療法を受けました。1回目の治療の後は肝機
能も高くなりましたが、2回目の治療の後はG
OT・GPTとも500ぐらいで安定しています。
今は何も治療していません。

Dさん（男性）

七十歳です。平成八年ごろ別の病気で通院して
いる病院で「C型肝炎の疑いがある」と言われ

ました。

「疑いがある」と言われても何のことか分からなかった。昨年心配だから、また検査してもらったところ今度は「ウイルスは殆どないよ」と言われました。「それでは治ったのか?」と言うと、「そうだろうな」と言われました。

C型肝炎も治療しなくても治るのかな。今もそのままです。

阿部

C型肝炎は慢性化すると自然に治る人は殆どいないそうです。ただ二年ほど前からウイルスの検査の精度が高くなって、それまで抗体が出来たかどうか判別がつかない人がいたようですが、今は判別できるようになったということです。「治った」という判断になったかもしれませんが、いずれ早めに専門医に行ってはっきりしてもらった方がいいですね。

その方が安心して飲めるわけですから(笑)

Eさん

平成七年にC型肝炎だと言われてインターフェロン治療()を一ヶ月入院してやりました。退院するころは大分数値も下がりましたが、お酒を飲み始めたりして高くなった。今は落ち着いているがGPTが70ぐらいでいくらか高いので、主治医からは注意されていますが、眠れないからやるんですよ。(笑)

小田中

皆さんC型肝炎で一番何が不安ですか?

Cさん

C型肝炎は20〜30年で肝硬変になると言われているので、これからどうなるか心配です。

小田中

ここにいる人達は感染してから、おそらく三十年以上経っている人ばかりだと思いますが皆さん元気です。私は四十年ぐらいは経っていると思いますが、このとおり元気です。ちゃんと検査をやって治療していれば心配ないです。

Cさん

三十年過ぎれば何か症状が出て来るといようなものではないんです。

阿部

そうですね。治療せずにいればそういう人もいるということ、Cさんのようにインターフェロン治療を二回やっている人は、そのような心配は少ないと思います。

Bさん

Cさんのように輸血で感染したというのが分かってる人は期間もはっきりするでしょうが、私の場合はどのようにして感染したのか全然分からない。

小田中

そのように感染原因が分からない人が多いですよ。私の場合も考えられるのは、昔の職場の同僚五人全員がC型肝炎になっている事から考えれば、予防接種などで同じ注射器を使っていた

ので、それでないかと思っています。そのなかの一人が町内で感染者が多いといわれているところの人でした。証拠は何もありませんがね。



阿部

紫波町はC型肝炎の感染者が多いですが、紫波町全部が高いのではなく、ある地域が非常に高いです。また、県内の市町村でも高いところがあつて、この村も大変高い方です。

おそらく、特定の診療機関などが原因で感染が広がったためこのような状態になっていると思っています。

Bさん

町内でも他にも患者がいますが、お互いになかなか分からないです。昨年の十二月に認可されたインターフェロン治療なども知らないでいる

人もいます。我々も早く治療したいし、良い薬であつたら早く認可してほしいものです。このような情報をもつと広げてほしいものです。

小田中

それが一番大変なんです。私達がそのような要望をどこに訴えていけばいいのかというと、国会とか厚生労働省しかないんです。そして行って話を通すためには署名簿の厚さなんです。今年も取り組みましたが、岩手は多い方ですが全国的にもまだまだ少ないです。

Aさん

会長さんが言われるように、専門の先生の話しを聞いたり、こういう情報を早く聞いて自分のあり方を早く考えないと、この病気は大変ですね。

(皆さんのお話を録音しテープ起しをしました。主旨が違っているかもしれませんがご了承下さい。事務局阿部)